



明倫の里 城北

ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25・2141

城北地区人口	
世帯数	2,951 (+1)
人口	6,655人 (-10)
男	3,060人 (-5)
女	3,595人 (-5)
(9月1日現在)	
(カッコ内は8月1日比)	



熱気と英知が語る まちづくり

未来へつなぐ 夢と希望の明倫の里

城北地区まちづくり計画策定はじまる

城北コミュニティが誕生して11年。皆様のご協力を得て特に「防災、福祉、文化のまち」をめざしてさまざま取り組みを重ねてまいりました。10年経過の節目を迎えるにあたり、これから5年後の将来を見据え課題を掘り返し、国の方針でもある地方分権ともあいまって、8月8日「城北地区まちづくり計画策定委員会」が下記のメンバーで発足しました。

はじめに城北コミュニティ細谷会長の決意表明、続いて丸亀市笠井生活環境部長よりコミュニティに移行した経過や、地域の特色を生かし未来を展望して進めて欲しいとの要請がありました。

次に自己紹介、今後の進め方について協議、多くの意見の中からコミュニティとして現況の7部会を基盤に取り組みのいいのではという考えに同調者が多く①総務②福祉③環境④保健⑤体育⑥文化・健全育成の各分科会において、具体的な計画の素案づくりをして審議立案していくことになりました。

今後、これらを実現していくには一人ひとりの住民の智慧と実行力が成果をもたらします。

城北地区をもっと元気に、活性化を図り次の世代につないでいくために、皆様の目線でぜひご意見、ご要望などいただきたいと思います。

城北地区まちづくり計画策定委員会委員

氏名	役員
小野 健一	丸亀市議会議員
小佐古 公士	前丸亀市教育長
近藤 顕一	元香川県立多度津工業高校長
田所 育雄	丸亀市立城北小学校長
橋本 きみ子	前丸亀市立城西小学校教頭
林 一郎	元香川県水道局長
藤田 高明	丸亀市立城北小学校PTA会長
藤田 登茂子	城北老人会副会長
細川 幸穂	丸亀市立城北幼稚園長
細川 滋	香川大学経済学部長
松下 幸	丸亀市立平山保育所長
三木 昇	元丸亀市健康福祉部長
山倉有美子	丸亀市立土居保育所長
馬瀬 賢	城北コミュニティ総務部会長
大川 潮子	城北コミュニティ広報部会長
香川 宏	城北コミュニティセンター所長
小谷 矯	城北コミュニティ福祉部会長
近藤 照司	城北コミュニティ環境部会長
佐野 洋	城北コミュニティ体育部会長
鈴木 巖	城北コミュニティ副会長
鈴木 勝榮	城北コミュニティ副会長
詫間健太郎	城北コミュニティ文化部会長
中野実千代	城北コミュニティ保健部会長
細谷 達則	城北コミュニティ会計
横山 俊男	城北コミュニティ会計

(敬称略・50音順)

ほくほくふれあいまつり

はじめての企画目白押し

10月11日

第13回ほくほくふれあいまつりは、10月11日(日)城北小学校を会場に、盛大に開催されます。

はじめての企画として「ほくほくまつりでロボットの操作体験をしてみよう!」のコーナーを設置。さらに「科学おもしろ作り教室」もあります。

「詫間高専」の担当で(9時30分から14時30分)まで、ロボコン大会出場のロボット(2足歩行)の操作体験もできます。

小学校低学年(1年〜3年)30人を対象とした、科学おもしろ教室(木登りテントウ虫作り教室も開かれます。午前10時から11時30分まで(15人)、午後は12時30分から14時まで

「消すゾウくん」の消火体験など... 屋内展示は小学・保育児童の作品がずらり。抹茶席はほっとする空間。行列の出来る骨密度測定。喫茶コーナーはだれでも参加できる社交場。

コンテンツ拡充

城北コミュニティHP

城北コミュニティでは情報充実の一環として、3月末にホームページを開設、順次コンテンツを拡充しております。7月からアドレスが変わりました。新アドレスは一面記事下に掲載してあります。

トップページでは、城北コミュニティが行う事業はもちろん、地域のさまざまな行事をタイムリーに記事と写真で紹介しています。

また、拡充の一つとして、「ともしび」の創刊号から最新の56号までを収録しています。いずれも原寸以上の大きさで読むことができ、地域の過去から現在までの動きを知ることが出来ます。さらに城北コミュニティ平成21年度の事業計画、予算も掲載しています。ぜひご覧ください。

古紙でエコ

楽しい遊び

8月25日、あそび創造集団「クロッシング」を迎え、城北小体育館に親子70人が集い夏休みの一日を過ごしました。

いきいき講座ご案内

◇第12回いきいき講座

- 一 日時 10月2日(金) 13時30分～15時
- 二 内容 介護予防「知って得する栄養のはなし」
- 三 講師 赤井靖子 管理栄養士

◇第13回いきいき講座

- 一 日時 11月27日(金) 13時30分～15時
 - 二 内容 備えあれば憂いなし ～南海地震に備える～
 - 三 講師 乃田俊信さん
- 多くの方の受講を願っています。



親子で熱中したエコな遊び

新聞紙でお母さんに折ってもらったかぶとや髪飾り、紙で作った洋服をまとい子どもたちは大喜び。

新聞紙をびりびりと破いて作った山に埋れ、鬼ごっこをしたりなど、子どもの歓声が体育館に響き暑さも吹き飛びました。

締めくくりはその紙をまとめてカラフルなガムテープでボール玉を作ってボール遊び、おかげで片付けにもなりました。(城北母子愛育班)

パトロール意見交換会

城北防犯パトロール隊の全体会議が、7月8日に城北コミュニティセンターで開催され70人が参加しました。

細谷会長、来賓の丸亀市岩根教育長より激励のあいさつ、丸亀署官武地域課長よりまだまだ振込詐欺が発生しており丸亀市で今年現在までに11件、318万円の被害が出ている。くれぐれも騙されないようにと注意がありました。

出席者の多くから「SOSの看板が少ない」「パトロール隊員だけでなく先生方やPTAの方にも協力して欲しい」「散策の折はタスキ掛けで」といった意見交換がありました。

最後に丸亀署から、パトロール隊は長く継続して欲しいが決して危険な目に遭わないように細心の注意をして欲しい。

しいとの助言がありました。(環境部会)

懐かしい音色と踊りと笑顔の輪

城北地区敬老会

秋めいた9月19日。城北地区の敬老会が城北小学校体育館において開催されました。

市長・来賓より長寿への祝辞を頂き式典の後、「城北小リコーダークラブ」の演奏。「みしま組和楽」の会場をま

きこんでの踊りになごやかな雰囲気になりました。

本年度該当者の内訳

▽総数 1122人
(男性390人 女性732人)
▽75歳 74人 ▽77歳(喜寿) 83人 ▽88歳(米寿) 34人
▽99歳以上 9人

地区最高齢者は城東町の原ヲキクさん104歳です。

一日二日をお元気に

9月初旬に校区内の70歳以上の独居の方(357人)と60歳以上で寝たきりの方(33人)を福祉部より友愛訪問、お菓子をプレゼントしました。

また10月11日開催予定の「ほくほくまつり」に70歳以上の

独居の方、障害のある方(児を含む)をご招待、地域住民とのふれあいイベントにお誘いの案内状をお届けいたしました。

どうぞ参加して、「心わくわく、何か良いことありそうネ」。共に秋の一日を過ごしませんか。お待ちしております。(福祉部会)

福祉保健推進委員委嘱と研修会

新しく福祉保健推進委員に委嘱された委員の研修会が、7月11日城北コミュニティセンターで開催されました。

細谷会長あいさつの後、委員141人を代表して芥徳則さん(魚屋町)に、委嘱状が渡されました。

丸亀市より市長代理の都築福祉課長のあいさつ、出席職員(5人)の紹介があり、委員としての役割や各事業・制度の説明、介護保険制度について手続きや使い方の研修がありました。

民生・児童委員交代

新・三村芳輝(御供所町2丁目) ☎22・3861

要望強い「健康」行事

センター利用促進が課題に

城北コミュニティセンター「明倫」は10月7日で開館10周年を迎えます。城北コミュニティ広報部会で10周年を機に地域の人たちにアンケートをお願いしました。アンケートは195人にお願ひし、183人から回答をいただきました。

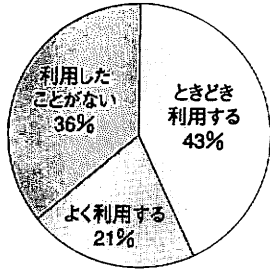
倫の里 城北」が引き続き現在に至っています。今回のアンケートは利用状況と今後の行事への希望を中心に聞きしました。回答データは、「より身近なセンター」にするための指針として活用させていただきます。主な回答結果は次の通りです。

「コミュニティセンター開設10周年アンケート」

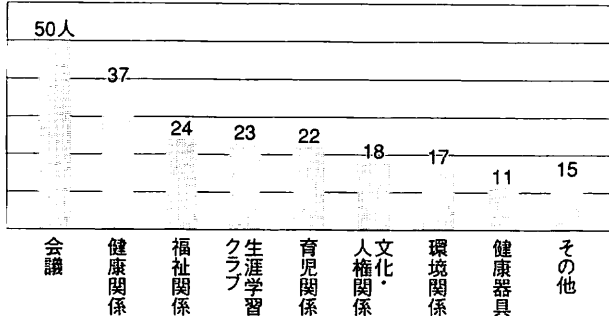
同センターは開館以来、「出会い」「ふれあい」「学びあい」を合い言葉にさまざまな行事が行われ、多くの地域住民がセンターを訪れています。

「センターは開館以来、「出会い」「ふれあい」「学びあい」を合い言葉にさまざまな行事が行われ、多くの地域住民がセンターを訪れています。

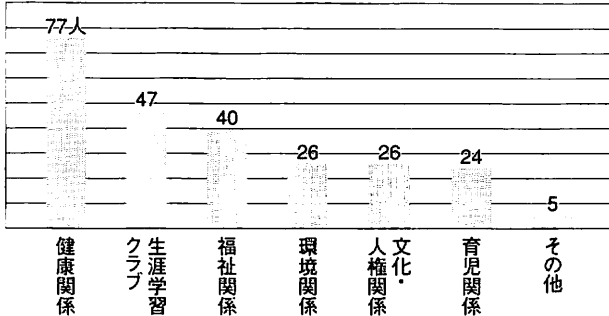
城北コミュニティセンター利用について



センターのどんな催事・施設を利用しますか(複数回答)



今後充実が望まれる催事(複数回答)



◆「城北コミュニティセンター利用については」は、
①ときどき利用する 43%
②よく利用する 21%
③利用したことがない 36%
◆「利用しない理由」としては

- ①出席する会合がない 53%
- ②センターまでが遠い 11%
- ③魅力ある催事がない 8%
- ④その他 28%

◆「センターのどんな催事・施設を利用しますか」(複数回答)では

◆「センターのどんな催事・施設を利用しますか」(複数回答)では

- ①会議 ②健康関係 ③福祉関係 ④生涯学習クラブ ⑤育児関係 ⑥文化・人権関係 ⑦環境関係 ⑧その他 ⑨健康器具の順となっています。その他では図書室のほか料理教室、城北明倫まつり、自治会関係などをあげています。

◆「今後充実が望まれる催事」(複数回答)を聞いたところ

- ①健康関係 ②生涯学習クラブ ③福祉関係 ④環境関係 ⑤文化・人権関係 ⑥育児関係 ⑦その他の順でした。

◆「男女別」では
男性 32% 女性 68%
◆「年齢別」は
20歳未満 2% 20代 5% 30代 9% 40代 19% 50代 13% 60代 9% 70歳以上 23%

「センターのどんな催事・施設を利用しますか」「今後充実が望まれる催事」のグラフでは無回答を除き実数を記載しています。

講座生を募集 パソコンの画像加工

11月19日・明倫センター

e・とぴあ・かがわの出張体験講座「はじめての画像加工」が11月19日(木)午後1時30分から城北コミュニティセンターで開かれます。e・とぴあ・かがわは高松市のサンプォートにある情報通信交流館。県民の情報リテラシー向上を目指しています。

パソコンで文字入力・マウスの操作ができる人なら誰でも参加できます。

講座時間は90分、e・とぴあ・かがわのスタッフが講師に当たります。

パソコンと写真を組み合わせることができます。いろいろな楽しみ方ができます。この講座では、楽しみのひとつ「画像加工」の基本を学びます。

パソコンは主催者で準備します。受講料は無料ですが、教材費200円が必要です。定員20人。受講希望者は城北コミュニティセンター(☎25・2141)へお申し込みください。定員に達し次第締め切ります。

禁止になりました (5万円以下の罰金)



傘差し運転等

携帯電話等を使用しながらの運転



大きな音でヘッドホン等を使用する等の運転

いんぱん知るといんぱん

平成20年に県内で起きた重傷以上の交通事故76件のうち、自転車の傘差し運転が4件。

21年は4月までで重傷以上の事故29件で、ヘッドホンを使いながらの運転が1件、携帯電話を使用した自転車の運転も1件ありました。

丸亀でも見通しの良い交差点であったにもかかわらず傘差し運転の自転車の衝突事故がありました。

交通事故で家族を悲しませないよう禁止事項を守りましょう。

踊ってみませんか
心もからだもリフレッシュ

私達のクラブ

日本民踊、故郷の民踊、讃岐の民踊など研究と伝承を目標にして活動してまいります。みんなで輪になって踊る民踊の楽しさを是非みなさま方も味わってほしいものです。

いっしょに踊ってみませんか。お待ちしております。

私達のクラブ



みんな元気 ドキドキを楽しむ

足摺岬から竜串
見残しへ

今年度の研修会が7月18日、



90人が参加して行われました。早朝、丸亀を出発。約4時間半、バスに揺られ高知県足摺岬に到着しました。

金剛福寺に参拝後、上り下りがきつい遊歩道を歩き、眼下に広がる太平洋の雄大な景色に感激。ジョン万次郎の像を見上げながら、鎖国の時代にたった一人、漂流の後にアメリカ暮らしを体験、帰国して日本の夜明けに力を尽くした万次郎の生き様に思いを巡らせました。

足摺海底館では、ガラス越しにかわいい熱帯魚を観賞。グラスボートでは、瀬戸内海とは比べようのない高い波に船酔いする人もいましたが、船底から見るサンゴ礁やすぐ近くを泳ぐ魚たちに感激しました。13時間の日帰りバスツアーでしたが、皆さん満足した様子で「来年も参加したい」との声も聞かれました。

地名の由来

御供所町

生駒氏の築城に伴い、慶長6年の頃、土居村に属した当地に水夫として宇多津御供所の浦人を移住させ、旧地名を当地名とし、江戸時代を通じて浦人の多くが漁業に従事、丸亀藩漁業の中心地となりました。

讃留霊王(さるれおう)の悪魚退治の際、水夫役を勤めた浦人が御菜魚を供えたところから御供所町の名が起ったようです。

あとがき

暑かった夏、でも今年はずっと異常ではなかったでしょうか。

季節感が微妙にずれ、終り頃から新型インフルエンザの流行が再燃して高齢者や子どもたち、持病を持っている人にとっていやなものです。

私事ですが先日後期高齢者の仲間入りをしました。その時思ったことは、心も体もいつまでも元気に、脳の働きをよくするために、地域の活動や交流をモットーにと気持ちを引き締めました。(皆本)